

機械実習

教科	工業	単位数	3	学科・学年	機械科2年生
使用教科書	「工業技術基礎」・「機械工作」(実教出版)			副教材等	自校テキスト

◇ 学習の到達目標 ◇

機械技術に関する基礎的な技術・技能を身に付け、各分野の実習課題を通して総合的な理解を深めます。

◇ 科目の特色 ◇

年間を通して四つの実習課題をローテーションします。実習班は1班が約10名で構成され、機械技術に関する科目で習得した知識や能力を実際の作業を通して総合的に学習し、協調・責任・勤労など技術者として望ましい態度や習慣を身に付けます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	1. 旋盤2実習	<ul style="list-style-type: none"> ・標準部品の製作。テーパ削り、ねじ切りの知識・技術を学習する。 ・技能検定2、3級取得に向けて学習する。
7 9	2. 特殊機械実習	<ul style="list-style-type: none"> ・凹凸ブロック製作。フライス盤、平面研削盤の操作方法を学習する。 ・技能検定3級取得に向けて学習する。
10 12	3. 制御実習	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラマブルコントローラを使用し基本操作方法を学習する。
1 3	4. CNC実習	<ul style="list-style-type: none"> ・加エプログラム・操作方法を学習し、アルミニウムの切削加工を行う。

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	各実習に関心を持ち、その基礎的な知識と技術の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身に付けているか。
思考・判断・表現	各実習に関する事柄の理解を深め、基礎的な知識を活用して、適切に判断する能力を身に付けているか。それを具体的に表現することができるか。
技能	各実習に関する知識・技能を身に付け、技能を習得しているか。
知識・理解	各実習に関する事柄を知り、知識を深め、性質等を知ることができるか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

①学習態度 ②製作作品 ③実習レポート

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

安全作業に充分努め、正しい服装・整理整頓を心がけて実験実習を行いましょう。また、実験・実習後のレポートの提出期限を守りましょう。